

使ってみよう！タブレット

実践事例

実践時期 令和3年6月

作品鑑賞（図画工作）	
対象校種学年等	全学年共通
概要	<ol style="list-style-type: none">これまでの課題 鑑賞した作品のよさを伝える際、紹介する作品が手元がない時、言葉だけで伝えていたため、作品のイメージが湧きにくかった。タブレットを使う目的 鑑賞した作品のよさについて、伝える側は作品の画像をもとに話すことにより、視覚的に説明でき、聞き手側は作品のイメージをもつことができる。この実践で得られた成果、子どもの変容など 作品の画像を用いるので、視覚的、具体的に説明することが可能となり、実際に作品を見る場合と同じ効果を得ることができた。
実践の流れや様子	<ol style="list-style-type: none">カメラ機能を使い、紹介したい友達の作品を撮影する。友達同士で紹介し合う時間を指定し、撮影した写真を友達に見せながら、作品のいいところを紹介する。代表児童が、全体の場で作品のよいところを紹介する。 